

メディアが語る

～53年前のカネミ油症事件に関わる現場取材して～

2021年6月12日(土) 13時30分～16時00分

IKE・Biz(エポック10) 6階 多目的ホール(50名)

※参加費 無料 保育・手話あり

※オンライン ZOOM 参加 無料 (事前登録50名まで)

「カネミ油症事件」ってなに? まだ終わってないの?

22年前に池袋のごみ清掃工場建設反対運動に関わった区民の女性が、エポック10と共に「生殖の健康」の視点からカネミ油症被害者の救済運動に積極的に関わってのイベントです。

53年前、猛毒のPCB・ダイオキシン類が混入した「カネミライスオイル」を直接経口摂取した人々が北九州市や長崎県五島市などにいます。その人々の健康被害は、子や孫にまで及び、事件発生から53年経った今、やっと、国も本格的な次世代調査を行う準備を始めました。

事件発生当時には最高裁までの大きな闘争がありましたが、被害者の救済は何一つかなえられず、被害者の皆さんは「国から自分たちは見捨てられた」といった心境で、世間からも忘れ去られていました。しかし、それから22年後、心あるメディア記者の方々が、被害者の置かれた状況に気付き、寄り添い、被害者への取材から学び、報道することによって、世論を、国を動かし、被害者救済が実現しました。メディアの大きな力が被害者救済へと結びついた事例がカネミ油症事件なのです。

「今のマスコミはダメだ」

との批判をよく聞きますが、「カネミ油症被害者救済」という壮大な世直し作業に結集した記者達のことを思うと、それは明らかな事実誤認だと言うほかありません。心ある記者達は、今もしっかり存在します。

記者の「仕事」は裏方作業で、決して“主役”にはなりません。主役はあくまでも事件の当事者だからです。

しかしこの日のイベントでは、そんな“裏方”の皆さんにスポットを当て、記者の皆さんがどんな思いでカネミ油症事件に関わってきたのかをお聞きします。

当日の主なプログラム

1. 記者の皆さんに聞く
 - ・事件との出会い
 - ・事件を追いかける
 - ・あなたのカネミ油症事件とは?
2. 参加者討論会
3. 質疑応答



参加予定者

(敬称肩書き等略)

コーディネーター

ルポライター 明石昇二郎

マスコミ

- ・長崎新聞・朝日新聞
- ・西日本新聞・毎日新聞
- ・小倉タイムス

様々な事件が、今も日々発生しています。どうしたら解決できるのだろうか? そんな疑問に一つの希望が見つかる集会にしたいと企画しました。ぜひお誘いあわせてご参加ください!!

会場参加 申込み方法（参加無料・先着順50名・保育あり）
5月6日（木）より受け付け開始

下記事項を記載の上、**エポック10**あてのEメールかFAXでお申し込みください。
電話でも受け付けています。

- ①イベント名 ②氏名（ふりがな） ③電話番号 ④住所（豊島区または区外）
保育を希望される場合は、⑤幼児名（ふりがな） ⑥年齢（〇歳〇ヶ月）も記載のうえ
EメールかFAXでお申し込みください。※6ヶ月以上未就学児。定員あり（先着順）

【申込み先】男女平等推進センター（エポック10）

電話：03-5952-9501 FAX：03-5391-1015
Eメール：A0029117@city.toshima.lg.jp

オンライン参加 申込み方法（参加無料・先着順50名）
5月6日（木）より受け付け開始

下記事項を記載の上、**新大塚いずみ法律事務所**あてのEメールかFAXでお申し込みください。

- ①イベント名 ②氏名（ふりがな） ③電話番号 ④住所（豊島区または区外）
⑤Eメールアドレス

【申込み先】新大塚いずみ法律事務所

FAX：03-5978-3706 Eメール：s.izumi.law@gmail.com

会場 としま産業振興プラザ（IKE・Biz）

6階 多目的ホール

〒171-0021 豊島区西池袋2-37-4

- 池袋駅西口より徒歩7分
または南口より徒歩6分
- 池袋消防署の隣のビル



会場参加される皆様へのお願い

- ★発熱・咳など体調の悪い方の参加はご遠慮ください。
- ★必ずマスクの着用をお願いします。
- ★参加前・後の手洗い及び手指消毒をお願いします。
- ★水分補給以外の飲食はご遠慮ください。
- ★三密を避けるため、受付に時間を要する場合があります。早めのご来場をお願いします。

開催にあたって感染防止対策を行います



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



共催：カネミ油症被害者関東連絡会・カネミ油症被害者支援センター（YSC）
エポック 10 フェスタ実行委員会

問い合わせ：080-5078-2573（YSC 佐藤）